

2024_0904「北斗七星とオーロラ（写真）」日々の理科 3681号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

我々の観測チームがオーロラ観測しているスウェーデン・ヨックモック郡のポルユス村は、北緯 67° の北極圏に位置し、天体の見え方は日本とはかなり異なります。北極星は常にほぼ高度 67° に見えます。北天の星座も一年中地平線上で沈まない「周極星」になります。「こと座」「白鳥座」などは、北極圏ではすべて周極星です。逆に南天の星座…たとえばオリオン座は地平線ぎりぎり、よく観望できません。

北斗七星も、関東以南では一部の恒星が地平線下に没することがありますが、北極圏では常に北の空高く…時には天頂に見えます。北の空に現れたオーロラと北斗七星が重なって見えることも多いということです。先日もすばらしいバンド・オーロラが北斗にかかって、誠に豪華な光景でした。

(2024年9月上旬/スウェーデン・ヨックモック郡・ポルユス/東京から遠隔観測)

